

検討に当たっての視点（素案）

平成11年11月

1 検討範囲（前提条件）

（1）未踏分野への挑戦

加速器の研究開発

レーザーの研究開発

放射光の研究開発

（2）持続可能な発展

核融合の研究開発

研究炉、中小型安全炉

2 検討の視点

（1）それぞれの分野の研究開発の現状を聴取し、これをさらに進める必要があるのかどうかを検討。（研究開発の必要性）

（2）必要性があるとした場合、その研究開発にどのような意義があるのか検討。（研究開発の意義）

我が国経済の発展（技術革新等）に寄与する可能性が高い

人類の知的共有財産の創成に資する

（3）その研究開発を加速すべきか、減速すべきかを検討。（研究開発の重要性）

（4）どのような研究開発項目に、どのような優先度で、どの程度の資金を投下するのが適切かを検討。

検討に際して考慮する期間は、今後30年程度を見通して、ここ5年程度の研究開発戦略を明らかにするよう努める。（研究開発の緊急性、その戦略）

（5）どのような研究開発体制で進めることが適切かを検討。（大学、研究所等の役割、連携）

（6）国際社会への発信

3 留意事項

各研究開発分野に共通又は派生する問題（横断的事項）、例えば、国際協力、人材養成（若者の参加意欲増進等）等については、各研究開発分野の検討が一段落した後に適宜検討する。